多層指導モデルMIM（ミム）とは



子どもたちの学習を支える「読み」の中でも、「はっけん」の「っ」や、「おおきい」などののばす音にみられる「特殊音節」を含む言葉を速く、正確に読めるようにするための学習モデルです。

MIM における取り組み

子どもたちの伸びを把握し、適切な支援を行うため、月に１回のアセスメント（評価）を行います。

絵に合う言葉探し

正しいのは何番かな？



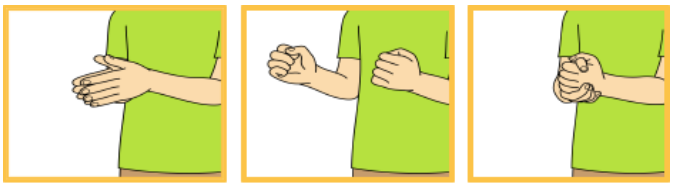
① はつけん
② はけん
③ はっけん

３つの言葉探し

隠れている言葉は何？

ふくろけしきかめら
おちゃぎょせんひゃく
ミシンマラソンスケート

語をかたまりとして捉えることや、語彙の拡大などを目指して指導します。



清音 きつつき　促音 かけっこ　拗音 いしゃ

特殊音節に応じて手を動かすような動作を取り入れて指導します。

せっけんで
あらって
まっしろ
かっぱくん



語をかたまりとしてとらえ、読みの速さが向上するよう指導します。

学習内容

（１） **読みの時間**・・国語の授業において、毎月１時間程度、すべてのお子さんに対し、動作化、視覚化を取り入れながら指導をします。
（２）**アセスメント（評価）**・・月１回実施します。テストは、採点をしてお返しします。
（３）**個別支援**・・つまずきが見られた場合は、個別支援を行います。

小学校１・２年生においては、言葉に着目した繰り返しの指導が大切です。MIM を活用することで、一人一人のお子さんの実態を把握し、効果的な指導を進めていきます。